

# 埼玉大学 現場見学会



## 【現場見学会概要】

- ☑場所：さいたま市桜区下大久保地先 荒川左岸羽根倉橋上流  
R 4 荒川第二調節池排水門及び囲繞堤新設工事 R 4 囲繞堤作業所
- ☑開催日：2023年9月26日（火）10:00～12:00
- ☑参加者：埼玉大学工学部 環境社会デザイン学科（2年生5名、4年生2名）  
埼玉大学大学院理工学研究科 環境社会基盤国際プログラム（留学生7名）  
（教員1名）

## 【実施内容】

- ☑工事概要説明
- ☑エブリデイドローン実演・体験
- ☑現場見学
- ☑BIM/CIM活用・DX推進・ICT施工説明
- ☑質疑応答



エブリデイドローン測量を体験



排水門建設現場での概要説明

## あらいげDX体験館での概要説明



発注者：荒川調節池工事事務所  
受注者：飛島建設株式会社

いぎょうてい

埼玉大学の学生さんをR4 囲繞堤作業所に招待し、堤防や排水門工事における、建設現場のDX推進やICT施工を体験していただきました。  
目の前で広がる広大な囲繞堤の規模の大きさに学生は圧倒されていました。  
現場実習では、学生がドローンの飛行ボタンを実際に押してエブリデイドローン測量を体験。  
BIM/CIM活用し進めている排水門工事の現場では、職員の説明を熱心に聞いていました。

## 【質疑応答】

- Q. エブリデイドローンでは、測量精度を確保するためにどの程度の数の写真を撮影するのですか？
- A. 1m<sup>2</sup>あたり16点の写真を撮影することで精度を確保しています。この測量のDX化は、測量誤差の低減に繋がり、エブリデイドローンを活用することで、取得した点群データから、日々の盛土測量・進捗管理が可能になりました。
- Q. 現場業務のDX化を行うことによって職員の業務は減りましたか？
- A. 実際にエブリデイドローンの測量を見てもらいましたが、タブレットにルートを入力し、飛行ボタンを押すだけで自動で飛行・データ処理まで行います。職員が測量すると2名体制で一日かかります。DX化によってこの現場では、現場に配属する職員の数を2名ほど減らすことができました。